



みんなで考えよう！これからの学術情報システムに求められるもの

「新NACISIS-CAT/ILLの変更点と今後の予定について」

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課
阪口 幸治

2023年3月30日ニュースリリースでNACSIS-CAT/ILL の新システムの始動をアナウンス

ニュースリリース

2023/03/30

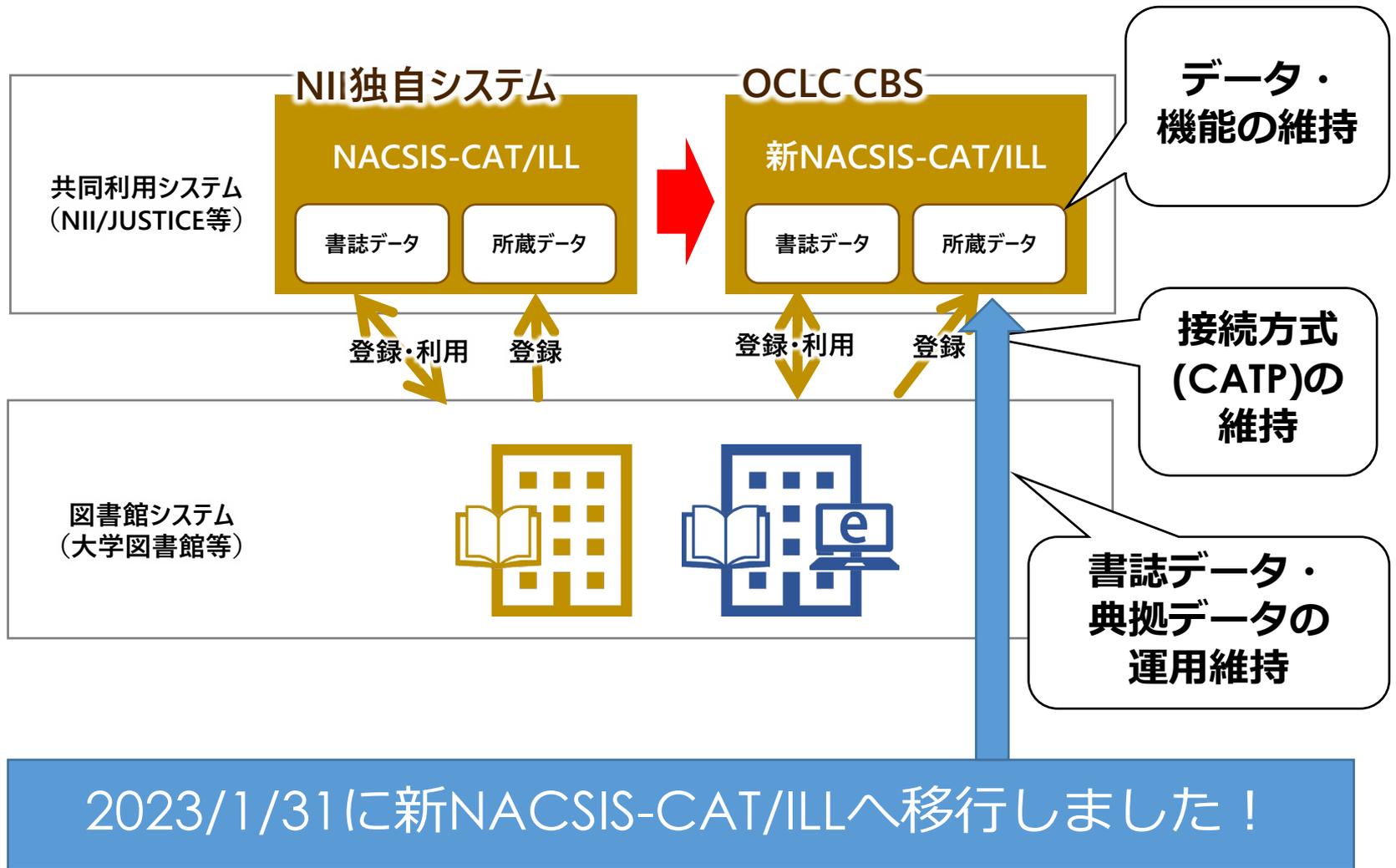
大学図書館等の目録所在情報サービス（NACSIS-CAT/ILL）
新システムでメタデータの国際流通へ新たな一歩をふみだす

<https://www.nii.ac.jp/news/release/2023/0330.html>

新システムのポイント

- メタデータフォーマットの国際標準である**MARC21**と**相互運用性を保持**でき、将来への拡張性・普遍性の担保が可能
- 国際標準の目録規則であるRDAに対応した**NCR2018**の**NACSIS-CAT/ILLへの適用**の検討により、メタデータの国際流通の促進が可能

新NACSYS-CAT/ILLへの移行



変更された点①

- CATP/1.1スキーマバージョン1以前のサポート内容変更
 - CATP1.1 スキーマバージョン2のサポートを中心とし、より古いバージョン（CATP1.0、CATP1.1 スキーマバージョン1）へのサポート内容を以下の通り変更しました。
 - ・ 検索以外のすべての操作がエラーとなる
 - ・ 検索した場合に上位のスキーマバージョンの値も返戻される
- 「SEARCH」メソッドの制約追加
 - Database nameの指定において、CATのデータセットとILLのデータセットの混在が不可になりました。
- 新規書誌IDのプリフィックスを以下の通り変更しました。（既存はそのまま）
 - 図書：BA → BB → BC (CAT2020) → BD (新CAT)
 - 雑誌：AN → AA → AB (新CAT)
- 書誌データ等の空更新時に、RNWDTとRNWFAが更新されなくなりました。既存データに何らかの変更が行われた場合のみ、RNWDTとRNWFAが更新されます。
- RECONのCRTDTとRNWDTに表示される日付が「19700101」の固定値に変更されました。

変更された点②

- RELATIONの提供様式の変更
 - 新NACSIS-CATでは、登録された書誌データに対し、より高頻度でのクラスター化作業を行い、RELATION機能を向上します。高頻度のクラスター化作業に対応するため、新NACSIS-CATでは、グループID (FID) が一意ではなくなりました。
- NACSIS-CAT Z39.50ゲートウェイサーバ機能を、Z39.50の後継規格であるSRUに変更しました。
- 「Z39.50クライアント機能」のデータベース追加・変更
 - ドイツ HBZからGBV (K10plus) へ変更しました。
 - フランス BnFに加えsudocを追加しました。
- 著者名典拠データセットの日本名標目形における付記事項の記述文法で、名称と付記事項冒頭の「(」の前に半角スペースが挿入されるようになりました。
(例)
夏目, 漱石(1867-1916) || ナツメ, ソウセキ
↓
夏目, 漱石△(1867-1916) || ナツメ, ソウセキ
(△ は半角スペース)
- 文字コードエンコーディングをUTF8・UTF8Eに統一しました

変更された点③

- UCS外字の取り扱いの変更

- (1)サロゲートペア文字（UTF-8の1文字が4バイトとなる文字）の場合

- 入力する場合（リクエスト）

「◆Unnnn◆◆Unnnn◆」で入力すれば、文字をUCS1文字に変換する。

- 表示、ダウンロードする場合（レスポンス）

UTF8：サロゲートペア文字を「◆」で囲んで入力返します。

UTF8E：サロゲートペアの文字をUTF-16エンコーディングで API 応答として返します。

例：「丈」(◆UD840◆◆UDC0B◆)の場合

1. 「◆UD840◆◆UDC0B◆」と入力した場合、「丈」に変換され「丈」として登録される。
2. 「丈」と入力した場合、「丈」がそのまま登録される。

変更された点④

- UCS外字の取り扱いの変更（続き）

- (2)サロゲートペア文字以外の文字

「◆」で囲んで入力した場合、正しい文字への変換は行われませんので、対応する文字を直接入力するようにしてください。

例：「𪗇」（◆U3402◆）の場合

1. 「◆U3402◆」と入力した場合、「𪗇」には変換されず、「◆U3402◆」がそのまま登録される。
2. 「𪗇」と入力した場合、「𪗇」がそのまま登録される。

- 前方一致検索の仕様変更

- 旧システムでは、2文字以上の文字列の直後に「*（アスタリスク）」を付すことでキーワードの前方一致検索が可能でしたが、新システムでは、1文字の直後に「*（アスタリスク）」を付すことでも前方一致検索が可能になりました。
- 旧システムでは、LCCN等のコードフィールドの前方一致検索が不可でしたが、新システムでは、LCCN等のコードフィールドでも前方一致が可能になりました。

変更された点⑤

- 雑誌所蔵データのHLVでの絞り込み検索の仕様変更

- ILL業務等で行われる、雑誌所蔵データのHLVでの絞り込みにおいて、所蔵データが2階層のものを巻レベルのみで指定すると、不完全巻でも（欠号があっても）ヒットするようになりました。

例：

（所蔵館A） HLV：36,37(1-19,21-24,26),38

（所蔵館B） HLV：36-38

- 旧システム

HLVの絞り込み値：37で検索→（所蔵館B）しかヒットしない。

- システム

HLVの絞り込み値：37で検索→（所蔵館A）、（所蔵館B）がヒットする。

変更された点⑥

- 2023/2/1に、新Q&A DBが公開されました。

新Q&A DBの画面

ホーム 質問・回答検索 質問受付 重複データ報告の受付 利用の手引き

メニュー

NACSIS-CAT/ILLへの質問・回答の検索 [利用する](#)

NACSIS-CAT/ILL参加館から寄せられた目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)に関する質問とその回答を検索できます。

NACSIS-CAT/ILLへの質問の受付 [利用する](#)

目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)業務利用図書館のための質問の受付ページです。

重複データの報告 [利用する](#)

目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)業務利用図書館のための重複の受付ページです。

[利用の手引き](#)

●メタデータ高度化への対応

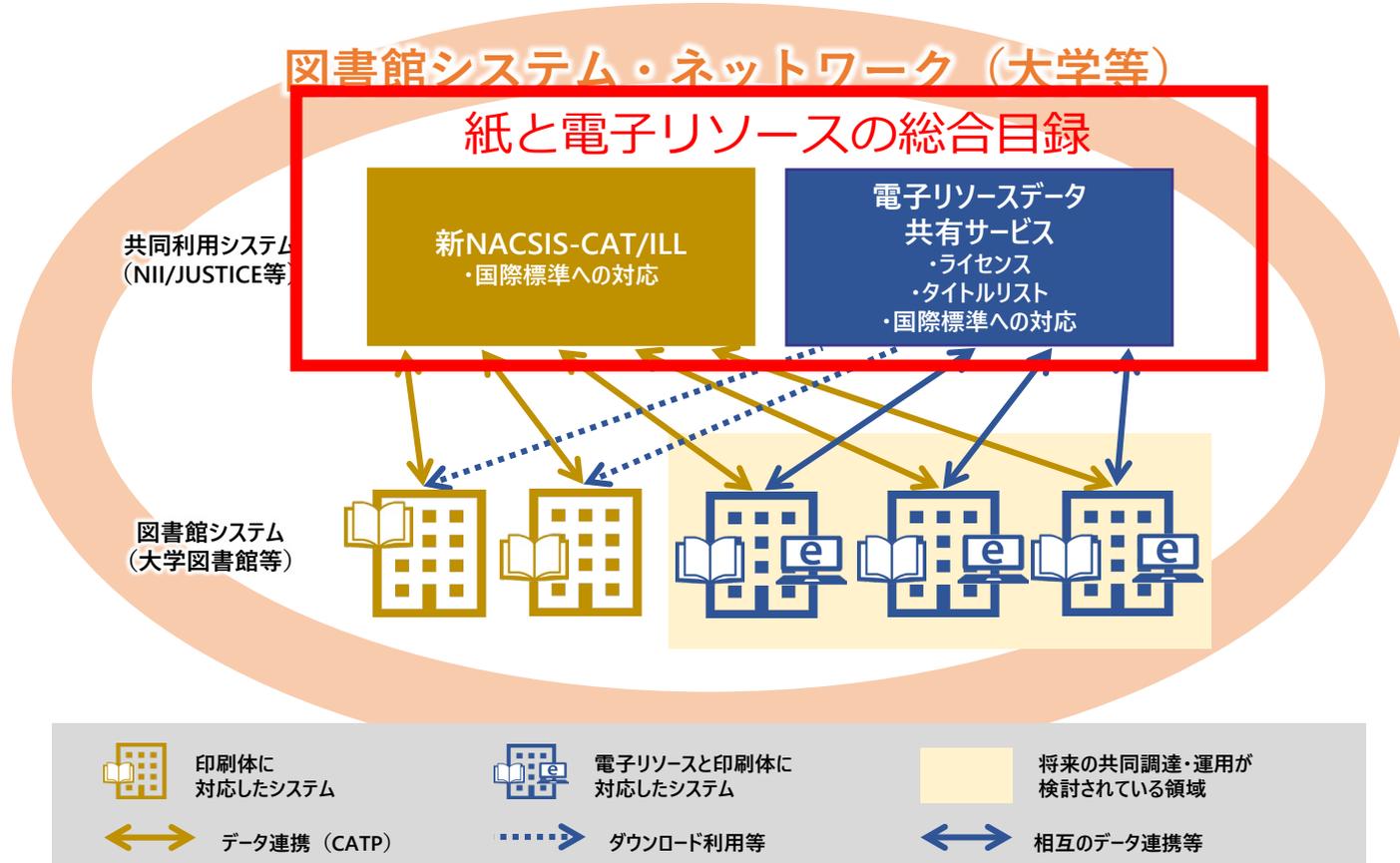
➤新しい目録規則への対応

●日本目録規則2018年版（NCR2018）

スケジュール	
2023年度秋頃予定	NCR2018対応のコーディングマニュアル、目録情報の基準改定案の公開
2023年度冬頃予定	NCR2018対応のコーディングマニュアル、目録情報の基準改定案の説明会の開催
時期未定	NCR2018対応のコーディングマニュアル、目録情報の基準改定案の確定
時期未定	NCR2018対応のコーディングマニュアル、目録情報の適用

将来構想

『「これからの学術情報システム構築検討委員会」が実現を目指すこと』
や「これからの学術情報システムのメタデータ収集・作成方針について
(2022)」を実現するため、紙と電子リソースの総合目録の構築を目指します。



新NACISIS-CAT/ILLシステムに未対応のバグが残っているなど、ご不便をおかけいたしておりますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご質問は、slidoへお寄せください。